



子どもたちが国芸展の作品を鑑賞

■ 9月15日まで開催された、第4回枕崎国際芸術賞展の会期中、市内の各小中学校、保育所等の子どもたちが南浜館を訪れ、展示されている作品を鑑賞しました。



救急車適正利用の広報活動を実施

■ 9月9日は救急の日でした。本市消防本部では、救急車の適正利用や救急車の資機材等を知ってもらおうと、市内の商業施設で広報活動を行いました。



薩摩青雲丸第2次航海出港式

■ 9月18日、鹿児島水産高校で薩摩青雲丸第2次航海出港式が行われました。

その後、実習生19名を乗せた薩摩青雲丸は、枕崎港外港東側岸壁から60日間の航海実習に出港しました。



認知症への関心と理解を

■ 9月21日は認知症の日でした。本市では、認知症についての関心と理解を深めるため、おれんじボランティアや市内で働くキャラバンメイトが市内商業施設で広報活動を行いました。



よかど鹿児島で枕崎の魅力をPR ～枕崎市特産品・観光フェア2025を開催

9月19日から21日までの3日間、よかど鹿児島本店ビルで「枕崎市特産品・観光フェア2025」が開催されました。

今回のフェアには市内6事業者が参加しました。来場された方にはパンフレットやかつお節パックを配布したほか、かつお節削り体験や特産品の試食など通して、枕崎の魅力をPRしました。



ボランティアによる合唱や踊りで大盛り上がり ～地域ふれあいサロンたんぽぽで敬老会を開催

9月17日、田布川町にある、特定非営利活動法人たんぽぽが開設する「地域ふれあいサロンたんぽぽ」で敬老会が開催されました。

敬老会には、南薩地域を中心に活動しているコーラスグループ「コトノハマリン」や地域の方々がボランティアとして参加しました。

コトノハマリンによる合唱や地域の方による踊りが披露され、施設の利用者と地域の方々が大いに盛り上がっていました。

参加した方は「和気あいあいとした雰囲気の中で明るく元気になりました。もっと長生きしたいと思います」と話しました。



本市在住の2名の生徒がベトナムでの活動を報告 ～第32回鹿児島県青少年国際協力体験事業

7月19日から26日までの7泊8日の日程で「第32回鹿児島県青少年国際協力体験事業(派遣国：ベトナム)」が実施され、本市の久保陽愛さん(鹿児島情報高等学校2年)と深澤咲菜さん(立神中学校2年)の2名が参加し、8月21日に教育委員会へ報告しました。

ベトナムの隣近所など人とのつながりを大切にしていく様子や学校で一生懸命学ぶ子どもたちの様子などを報告しました。また、食事や言葉の違いなどを通じて、異文化を理解する大切さを実感できたようです。

今回参加した2人の体験発表は、来年2月に開催される生涯学習フェスティバルの中で行われる予定です。



子ども食堂にんぎまんまの活動を支援 ～JA南さつま女性部がジュース、生理用品を寄贈

8月30日、子ども食堂スマイルキッチン「にんぎまんま」に、JA南さつま女性部の活動の一環として、みかんジュースと、女性部総会の募金で購入した生理用品が寄贈されました。

受け取った「にんぎまんま」代表の茅野寿満子さんは「物価高騰により、いろいろなところでしわ寄せがきていますが、このような温かいご支援に心から感謝しています」と話しました。



「煩悶」
【オーディエンス賞】

「無明－鹿児島－」
【準オーディエンス賞】

第4回枕崎国際芸術賞展が閉幕 ～オーディエンス賞に選ばれたのは和崎さんの作品

南浜館で開催された第4回枕崎国際芸術賞展が9月15日、閉幕しました。

7月21日からの会期57日間の総入場者数は、3152人で、多くの人が作家たちの想いが詰まった作品を一目見ようと会場へ足を運びました。

会期中に、来館者が好きな作品に投票して決定する「オーディエンス賞(市民大賞)」が決定しました。

オーディエンス賞に選ばれたのは、和崎正美さん(島根県)の作品「煩悶」で、投票総数2577票のうち244票を獲得しました。

準オーディエンス賞には、本展大賞作品でもある小山恭史さん(東京都)の作品「無明－鹿児島－」が224票を獲得し、選出されました。

